

新しい投資先として注目される韓国中心都市・金泉市

～ビジネスに最適な都市、金泉市へ、日本の皆様をご案内いたします～



金泉市市長 朴 寶生(パク・ボーセン)氏



金泉市の紹介をお願いします。



金泉市は人口14万人の都農複合都市で、大韓民国の中心に位置しています。昔から交通の要所として、また朝鮮時代には国内五大市場の一つとして、商業が発達してきました。1905年に京釜線鉄道が開通したことによって発展した慶尚北道西部地域の中心都市です。

高速鉄道KTX、鉄道、高速道路など、四方八方へ行くのに便利な広域交通網があり、大邱空港へは自動車で約1時間の距離にあります。来年には、仁川国際空港まで直通のKTXが開通する予定です。

また、金泉は浦項港、蔚山港、釜山港、馬山港、鎮海港、光陽港などへの交通が便利で、西海岸側の群山港、平澤港にもアクセス可能です。このように便利な交通網は、企業の立地条件として最も重要なものですので、多くの優れた企業から金泉に工場建設をしたいとの打診を頂いております。

金泉市では、これらの企業がビジネスを行いやすい環境を整備し、工場の敷地提供のために、新規産業団地を段階的に造成しています。また、人口約2万6千人の革新都市（公共機関を中心とする新都市）が建設され、韓国道路公社、韓国電力技術、農林水産疫検査本部など、12の公共機関の受け入れを進めています。

主な特産物にはブドウ、スモモ、タマネギなどがあり、清潔で美しい都市地域と、環境に優しい田園が広がる農産地域が調和した、暮らしやすい都市です。

金泉市は、ISO 9001(品質)/14001(環境)認定を取得した水道水と、検察庁の犯罪分析報告書で「事件・事故・犯罪が少ない、最も安全な都市」と報告されるほどの治安の良さ、地震、台風、洪水などの自然災害の被害も少なく、企業活動はもちろんのこと、快適で清潔な環境の生活を享受できる、大韓民国を代表する都市です。

日本の皆さんにとって、大韓民国の金泉市は聞き慣れない地名でしょうか。日本で活動していた世界的なバイオリン職人で、「東洋のストラディバリ」呼ばれた故 阪昌鉢氏の生まれ故郷が、この金泉市なのです。

Q 金泉市は、企業誘致や失業対策に重点的に取り組み、大きな成果を得たそうですね。また、新規産業団地造成事業も、現在進められているそうですが。

A これまで市政の最優先目標を地域経済の活性化と失業対策と位置づけて、産業経済の基礎となる産業団地の造成、企業誘致、失業対策のために、一歩進んだ体系的な

韓国・金泉市は、環境に優しい工業都市を目指して産業団地造成に力を入れている。既存の金泉第1一般産業団地のほか、現在、造成中の第2一般産業団地が2014年に完成し、全体面積522万m²の規模を誇る産業団地が誕生する。日本企業の誘致に力を入れる金泉市市長に、今後の地域発展戦略について聞いた。

投資誘致活動を展開してきました。その結果、2006年から2012年の上半期にかけて、現代モービス、KCCなど、160の企業を誘致し、3,018人が就職に成功するなど、雇用を生み出していました。

これらの努力により、金泉市は昨年、知識経済部が全国の4,000社を対象に行ったアンケートで、「ビジネスに最適な全国の10大都市」に選ばされました。

この成果は、投資誘致専門担当部署を新設し、企業への迅速な情報収集を行い、積極的なマーケティング活動を展開する一方で、役所の事務的手続きのワンストップサービスを開始するなど、ビジネスに最適な条件を作り上げてきた結果であると考えています。

また、多くの企業を誘致するためには、手ごろで企業活動がしやすい工場用地が必要です。

そこで推進しているのが、約496万m²規模の新規産業団地造成です。金泉第1一般産業団地を造成する過程で、韓国屈指のKCC、コーラン生命科学株など、13の企業を誘致し、コーラン生命科学をはじめとした5つの企業が稼動を始め、韓国で初めて環境に優しい建築資材を生産したKCCも7月上旬から稼動を開始するなど、産業団地造成による地域経済への相乗効果は、すでに現れています。

特に、金泉第1一般産業団地のバイオライト株など5つの自動車部品企業は、現代モービス関連企業の誘致の媒体的役割を果たし、自動車部品産業を地域の中心産業へと育成できるよう、リードしてくれると期待しています。

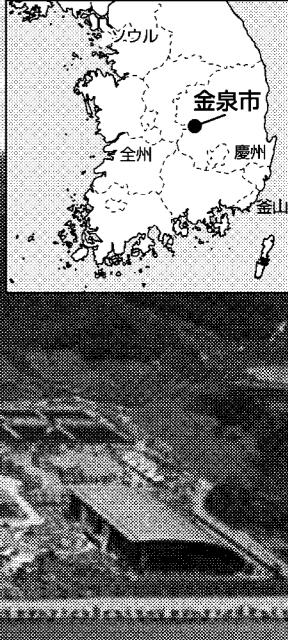
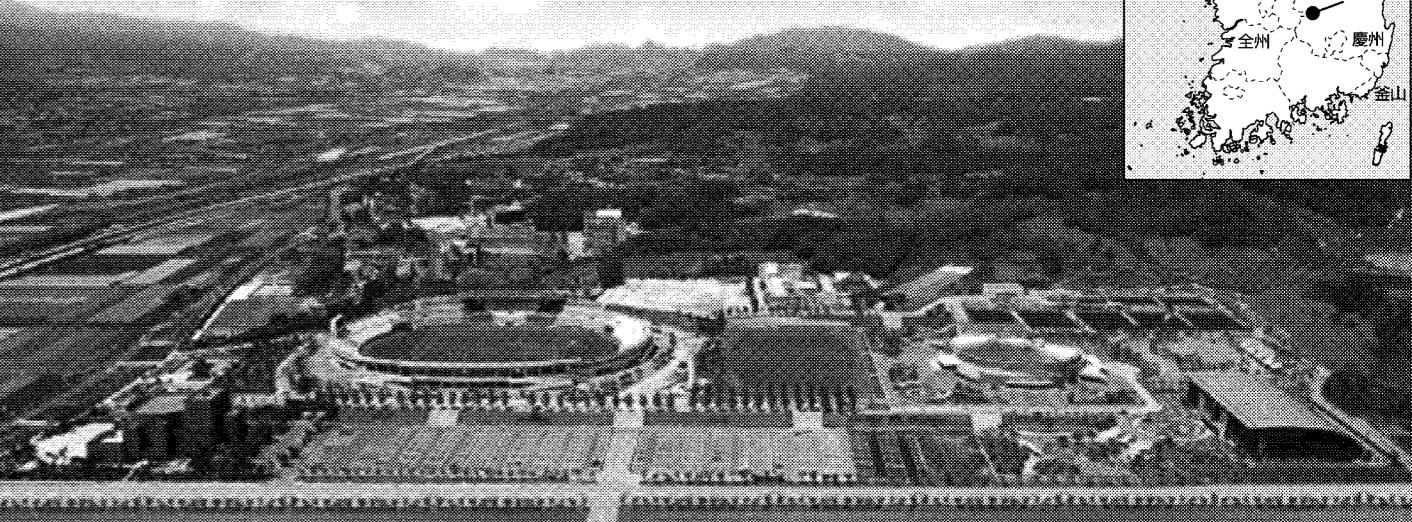
また、金泉市の各種インフラの積極的活用を訴求、金泉第2一般産業団地も完成前に完全分譲できることを見通しを立てております。

交通の便の良さや物流、革新都市を中心とした後方支援施設など、投資誘致の競争力は十分あると考えておりますので、産業用地を積極的に増やすし、企業の誘致に最善を尽くす所存です。

Q 革新都市建設事業も、滞りなく進んでいるそうですね。

A 革新都市とは、大韓民国の江原道原州市、大邱市東区、慶尚南道晋州市、慶尚北道金泉市など、全国10の都市に造成されている都市計画です。首都圏の公共機関を移転させ、企業、大学、研究所、公共機関などの機関が互いに緊密な協力を実行する革新的な構造を持ち、レベルの高い住居、教育、文化などの定住環境を兼ね備えた人口2万~5万人を収容できる、未来型都市のことです。

金泉市の金泉革新都市（別名、慶北ドリームベリー）は、現在94%の基盤工事が進んでおり、全国の革新都市の中でも、最も早く完成する見込みです。



移転していく公共機関の新庁舎が続々と姿を現しています。また、昨年6月には政府支援型庶民住宅660世帯の分譲が始まり、早期完売。今年だけでも4,420世帯が入居できる6カ所のマンション工事が始まることになっています。

韓国道路公社をはじめとした、7つの機関はすでに着工しており、下半期には韓国電力技術などの残りの公共機関も着工し、対象となる移転公共機関のすべての新庁舎が建設工事に入る予定となっています。

移転機関は、韓国道路公社などの道路交通機能群と連携した先端交通産業、国立農産物品質管理院などの農業支援機能群と連携した農生命産業、韓国電力技術に関連するエネルギー産業などに大別することができます。これにより、特化された自立した経済都市の建設を目指しております。

金泉市は、サクセスフルな革新都市の建設のため、移転機関の職員が早期に定着できるよう、優れた教育環境や快適な居住環境の整備に力を入れる一方で、新規産業団地を知識基盤型産業と、新再生エネルギー産業の拠点へと育成し、革新都市と連係して発展させ、産業経済の中心軸となれるよう進めています。

Q 大韓民国の中心、交通の要所である金泉市に新しい鉄道路線が建設される一方で、広域交通網も拡充されるそうですが、どのようなものですか？

A 日本には高速鉄道として新幹線がありますが、韓国には国内最高の交通インフラを持つKTXがあります。そのKTXが通る金泉市は、交通の要所なのです。KTXの駅を中心に、京釜線、慶北線、京釜高速道路、中部内陸高速道路、国道3号線、4号線、30号線、59号線など、便利な広域交通網が構築されています。

2010年11月にはKTX駅舎が完成し、本格的な高速鉄道時代が幕を開け、これにより金泉市は、ソウルや釜山まで1時間台の生活圏となりました。また今後は龜尾市と連携した産業クラスター構築の拡大により、約2兆920億ウォンの経済誘発効果が期待されています。

国家鉄道網構築計画により、金泉~晋州間の南部内陸鉄道の2016年の事業着手が決まりました。同時に金泉~龜尾間の東西横断鉄道建設事業が追加対象事業に選ばれ、これらの鉄道が建設されれば、国土の中心地として、十字軸の鉄道網が形成されることになります。

また、鉄道網の構築とともに、今後は道路網も拡充される予定です。市内中心部に幹線道路網を整備し、広域交通網も持続的に拡充することで、均衡の取れた地域の発展を進めていく計画です。

誘致企業がスムーズに物流輸送を行えるよう、市の外郭を取り巻く国道代替迂回道路を5,400億ウォンをかけて段階的に建設し、来年までに完成する見通しです。また、国道3号線、国道4号線を6車線に拡張するなど、持続的に力を注いでいきます。

Q 金泉市はこのたび新たに文化とスポーツが融合した、環境に優しいエコ観光都市作りを発表しましたが、今後の推進方向を教えてください。

A 日本もそうでしょうが、韓国の国民も最近になり生活に余裕ができ、趣味を楽しみ、観光レジャーに関心を持つ人が増えてきています。観光産業は、「煙突がない産業」と言われています。公害の心配が無いグリーン産業は、今後私たちが優先的に進めていく目標なのです。

今年を観光産業の新しい幕開けの元年とし、好みに合わせた観光資源の開発に力を注いでいます。

慶北三大文化圏（儒教・新羅・伽倻）文化・エコ観光基盤造成事業の一環として、金泉を代表する觀光地の直指寺一帯を、觀光資源ブランドへと作り上げるための黃岳山ハヤロビ（白鷺）公園造成事業が今年着工されました。環境に優しく美しい金頂ダムとともに、修道山自然休養林を造成中です。

また、都市ブランドの価値を高めるグリーンエコ都市構築事業も本格化します。

直指寺エリアに造成される、環境に優しいエコ公園、堤防や自転車道路の設置など、市民生活向上のために、さまざまな事業を推進していく計画です。

33万m²規模の総合スポーツタウンは、国際規模の室内テニスコート、プールなど、11の体育施設で構成され、毎年30以上の国際大会や全国大会が開かれています。これは365日のうち180日が有効利用されている計算となります。

3万席のメインスタジアム、8千人を収容できる室内体育館、地上訓練場を兼ねたプール、テニスコート、バドミントン専用競技場、ローラースケート場、射撃場、弓道場もあります。

特に2008年から集中的に投資しているスポーツマーケティングにより、わずか3年で韓国スポーツ界の中心都市に成長し、昨年11月には文化体育観光省から「第7回大韓民国スポーツ産業大賞」を受賞しました。

来年は金泉市で「慶北道民体育大会」が開かれます。2006年の国体、2007年の青少年国体と障害者国体など、三度の国体を開催した経験を活かし、道民が金泉市の温かさと感動を体験できる最高の大会となるよう、準備が進められています。

Q 最後に日本の企業へ一言お願いします。

A 日本は地理的に近いだけでなく、優秀な技術力を持っており、日本の優れた企業の誘致は、産業構造の多様化や先端技術の習得に役立つと期待しています。

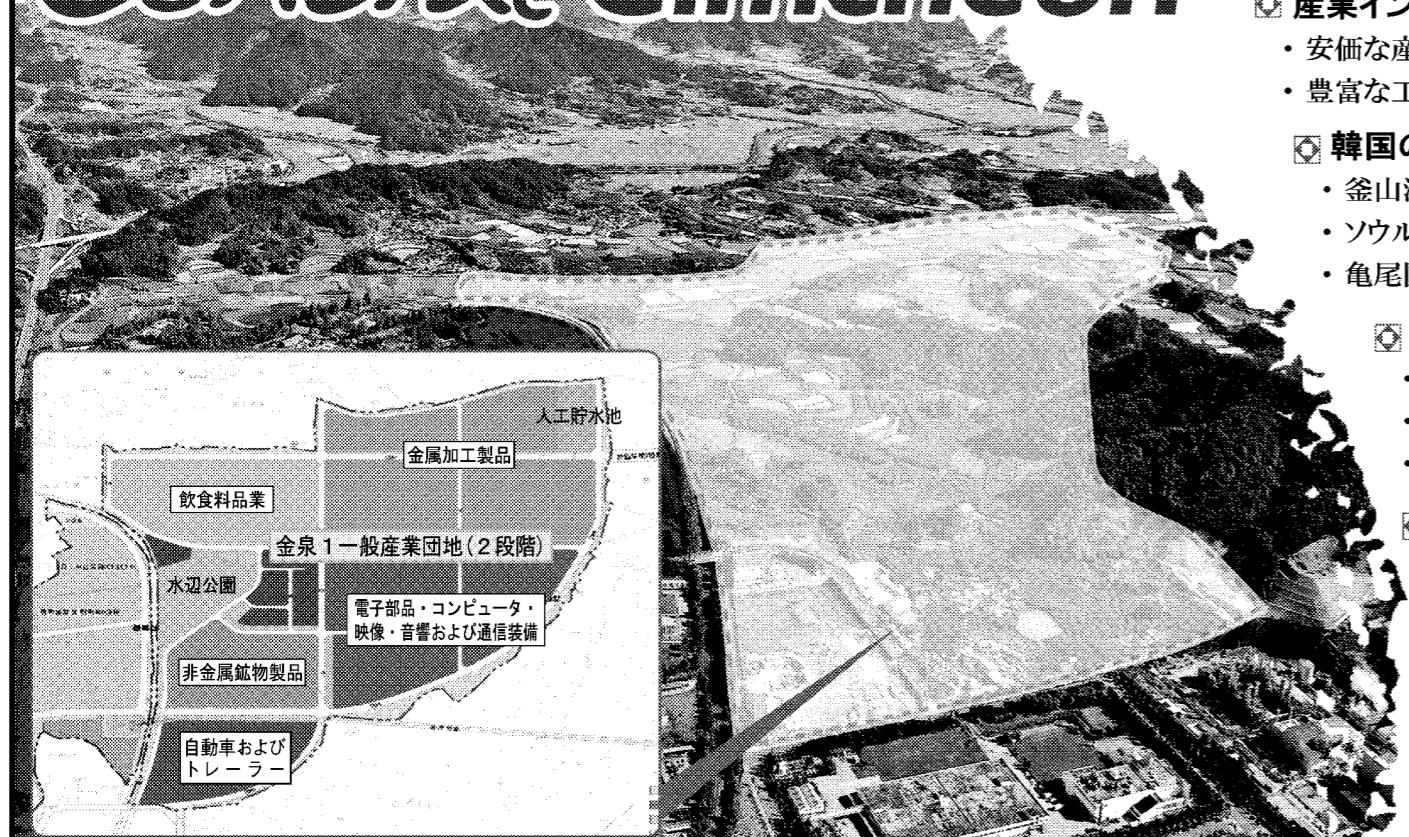
しかし、日本では韓国金泉市の認知度は低いのが現状です。海外投資に興味があるたくさんの企業が金泉市に目を向け、現場視察や投資相談会にお越し頂ければと思っております。

「大韓民国の金泉市に投資すれば、必ず成功する」という神話を作りできるよう、外国人投資地域指定および行政的支援などを、積極的に努力していくことをお約束いたします。

韓國知識経済部が選ぶ「ビジネスに最適な都市」

金泉市へ投資してみませんか

Central Gimcheon



◎ 産業インフラが完備された都市

- ・安価な産業用地・産業電力(154kv)
- ・豊富な工業用水・安定した人材需給

◎ 韓国の中に位置する交通の要所

- ・釜山港・蔚山港・浦項港まで約1時間(高速鉄道利用)
- ・ソウルまで1時間20分、仁川国際空港まで2時間30分、大邱空港まで50分
- ・龜尾国家産業団地まで20分

◎ ウェールビーイング文化施設が整った、暮らしやすい都市

- ・歴史的に地震などの天災が無い、安全な都市
- ・文化やスポーツを楽しめる、環境に優しい都市
- ・清潔な生活用水(ISO9001/14001認定)

◎ 金泉一般産業団地

- ・面積: 981,132m²
- ・適した業種: 自動車部品、電子部品、コンピュータ、映像および通信設備など
- ・投資額3,000万ドル以上で、敷地賃貸料を50年間100%減免
- ・法人税、所得税を5年間100%減免。その後2年間は50%減免
- ・取得税15年間100%減免。財産税10年間100%減免

金泉一般事業団地産業施設用地分譲案内

・お問い合わせ:+82-54-420-6082, +82-11-9873-0993

